

会議録

会議の名称	平成25年度 第2回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成25年10月16日（水曜日） 午後1時15分から
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	石田会長、内田副会長、永田委員、新倉委員、浅野委員、梅田委員、桑原委員、栗山委員、手島委員、菊地原委員、横山委員、谷戸委員、大堀委員
議題	1.健康づくり推進プラン進行管理について 2.次期西東京市食育推進計画の策定について 3.西東京市がん検診に関する意識調査の報告について 4.機能訓練事業について (5) 保健福祉審議会の報告について
会議資料の名称	資料1 西東京市健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 西東京市健康づくり推進協議会条例 資料3 西東京市健康づくり推進協議会規則 資料4 西東京市市民参加条例 資料5 西東京市市民参加条例施行規則 資料6 西東京市健康づくり推進協議会傍聴要領 資料7 西東京市情報公開条例 資料8 第2次西東京市健康づくり推進プラン 資料9 西東京市健康づくり推進プラン進行管理表 資料10 (仮称) 第2次西東京市食育推進計画案 資料11 平成25年度がん検診受診率向上事業モデル事業の中間報告 資料12 機能訓練事業「リハビリ教室」について
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	

1 開会

健康課 栗田課長より開催挨拶

任期初めの会議のため市長より委嘱状の交付。市長挨拶

各委員より自己紹介

事務局より欠席者の連絡、傍聴人の確認（0人）

会長の選任（石田会長、内田副会長）。石田会長より挨拶

事務局より資料確認

2 議事

健康づくり推進プランについて

事務局より説明

○会長：

健康づくりの指導員、応援団は作る予定があるか。

○事務局：

健康都市宣言などもあり、地域から支えるために作っていこうと思う。地域からの健康づくりを進めていきたい。

○会長：

民間のボランティアを募るのか。

○事務局：

市から、健康づくり推進プランに共感してもらえる企業などを募る。

○会長：

健康づくり進捗プランについて、毎月進捗が出るか。

○事務局：

報告していく。

次期西東京市食育推進計画の策定について

事務局より説明

○委員：

45ページ、食の安全で有機野菜に触れているが、10月17日の雑誌で「有機野菜を摂りすぎるのは身体によくない。0-157の汚染などがあり、盲目的に信用すべきでない」との記事が載っていたが。

○事務局：

課題も数多いが、食育に関心を持ってもらうための事業である。

○委員：

計画案はいつまでに出すのか。

○事務局：

パブリックコメントを1か月間受け付ける。アスタで計画の説明会を行う。

○委員：
答申はいつか。

○事務局：
1月に予定している。

○委員：
この会議はそれまでに何回あるのか。

○事務局：
次回、12月に予定している。

○会長：
次回までに資料を読んで、12月の会議で意見をもらいたい。気が付いたことがあれば、その都度事務局へ

西東京市がん検診に関する意識調査の報告について
委託事業者より報告。

○委託事業者：
24歳、28歳、34歳の女性に向けて、子宮頸がん検診と乳がん検診の勧奨のため、健診を受けましょうというリーフレットを送付

意識調査によると市のがん検診を知らないという方が一定数いるので、その方たちに目を向けてもらうためにリーフレットを作成した。実際の受診料、受診率、早期発見の有効性を記載。送付した20代、30代に受診率向上がみられ、特に30代が顕著。結果を踏まえて事後アンケートを行ったところ、実際に受診した方の印象に残ったリーフレットの項目は、医療機関と市からの補助額が明記されていたことだった。未受診の方が印象に残ったことは、自分の年代に子宮頸がんが関係しているというところで、啓発効果は十分にみられた。結果、市の無料クーポンよりも受診率が高かった。

○委員：
医療機関の選定はどのようにしたのか。

○事務局：
健康課からのアンケートで4医療機関が引き受けてくれた。

○会長：
年齢の選定はいかに。

○委託事業者：
20代と30代の受診率が低かった。受けるつもりだったという人は多かったためこの年齢にした。

○会長：
6ページの市の健診を知らない率のアンケートをとった年齢は。

○事務局：

子宮頸がんは20歳以上、乳がんは40歳以上、胃がんは30歳以上、肺がんは40歳以上

- 会長：
そんなに知らないのは問題である。
- 委託事業者：
八王子市でも同様の結果である。
- 会長：
受診率が低いのも頷ける。受診率向上事業は子宮がんだけの事業か。
- 事務局：
他のがん検診事業もやっている。
- 委員：
実際にリーフレットのどこがプラスになっているか分析したか。
- 委託事業者：
事後アンケートを送付して、どこが印象に残っているか聞いた。写真や同年齢のインタビューなどを載せてまず開いてもらうよう工夫した。
- 会長：
子宮頸がんワクチンの副作用については。
- 事務局：
国の動向による。市として考える段階ではない。
- 会長：
予防に重点をおくか、副作用におくか考えるべきである。
- 委員：
市の健診認知度のアンケートは国民保健加入者だけか、市民全体が対象か。
- 事務局：
無作為抽出である。
- 委員：
社会保険に入っている方は、市の健診の認知度が低いと思う。

機能訓練事業について

事務局より説明

- 会長：
A型、B型とは。
- 事務局：
身体のレベルの違いについて。今はA型のみ。B型はなくなった。

○会長：

機能訓練の人数が多くないが、希望者の人数なのか。これが適正人数なのか。

○事務局：

申しんでもらい、審査している。5名ほど。スタッフが3名で、もともとマンツーマンでやるべき事業なので、この人数になっている。

○会長：

もっと人数を増やしたらどうか。

○事務局：

ロコモティブシンドロームとして滋養を組み替え、人数を増やしていく予定。腰痛講座はキャンセルが出るほど。

○会長：

予防事業としてやるならもっと人数を拡大すべき。

○委員：

若い方は参加できるか。

○事務局：

健康増進法で40歳から60歳まで。

保健福祉審議会の報告について

事務局より報告

○会長：

がん検診の有料化についての結果はまた連絡します。

その他

○会長：

（仮称）第2次西東京市食育推進計画案については、テーマが幅広すぎるため、事務局の方でしぼってもらいたい。どのテーマをこの協議会で審議してもらいたいかを指示してほしい。次回までに協議会メンバーは資料を読んで本協議会としての意見をまとめるため考えていただきたい。